

『時事直言』 No.1440 2020年12月2日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t_masuda2019/

[instagram] t_masuda2019/

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] T_Masuda_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

なんだかんだと言っても儲けなくてははいけませんね！

「小冊子」Vol. 119 がやっと昨日入稿出来た。

アメリカの大統領選後、激動の日々が続き、私が関係するシンクタンクから意見を求められたり、政界背後の動きを聞かされたりで、体はハワイで動けなくても、結構忙しい毎日が続いている。

私に北京講演を依頼している中国国営シンクタンクの関係者からは毎日のように連絡がある。

あれやこれやで「小冊子」Vol. 119 の内容は何度も変わったが、知っておいていただきたいことを書いた。

ジャパン・ハンドラー(日本を操る)と言われる戦略国際問題研究所(CSIS: Center for Strategic and International Studies)というシンクタンクが7月末に発表した「日本における中国の影響力」と言う報告書で、日本の習近平主席国賓招待や一対一路支援などは行き過ぎだとし、安倍首相に過度な親中姿勢を促してきたのは今井尚哉(安倍)首相補佐官と二階俊博幹事長であると指摘している。

安倍首相は8月25日辞任、今井氏は左遷、二階派の元法相河井克行議員、妻・案里議員は公職選挙法で逮捕、同じく二階派の秋元司議員はカジノ関連(IR)汚職で逮捕となり二階幹事長は窮地に追い込まれている。

日本(二階幹事長)は王毅中国外相訪日(11月24日)などで対抗しているが、CSISの攻撃目標は安倍首相でありトランプ大統領である。

バイデン次期大統領予定の閣僚人事を見ればわかる通り、目指すはトランプ大統領に潰されかけている戦後アメリカの軍事・経済覇権の再興である。

「覆水盆に戻らず」(It is no use crying over spilt milk)!

吹けば飛ぶような小国北朝鮮の核弾頭付きICBMに怯えるアメリカ。

トイレットペーパーを札に替えて国債を買って、死にかかったドルの延命を謀っているアメリカ。

既にアメリカの時代は終わり、今後は中国中心の多極化時代である。

日本の財界、官界、マスコミ界で大きな顔をしてきたCSIS留学組も主流ではいられなくなる。

今は余計なことを考えるより、「時代の先取」で、「しこたま儲ける」ことだ。

今回の「小冊子」Vol.119は「儲けのライセンス」でもある。

増田俊男の「目からウロコのインターネットセミナー」大好評配信中！

1ヶ月わずか約¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネットセミナー」！視聴期間はお申込み翌月より12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は4~6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: www.chokugen.com) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。